

勤務環境改善

京都府医療勤務環境改善支援セミナー（第2回）

医療機関に勤務する医療従事者は、長時間労働や当直、夜勤・交代制勤務等により厳しい勤務環境におかれており、将来的に質の高い医療提供や医療安全の確保を図るためには、医師や看護職等の医療従事者が健康で安心して働くことができる環境の整備が喫緊の課題となっています。こうした中で、平成26年の医療法改正により医療従事者の勤務環境の改善に関する法律上の規定が創設され、各医療機関が医療従事者の勤務環境改善に取り組むよう努めることとされました。

そこで、京都府医療勤務環境改善センターは各医療機関で勤務環境改善に向けた取り組みを推進していただくために、平成27年11月12日（木）キャンパスプラザ京都に於いて京都府医療勤務環境改善支援セミナー（第2回）を多職種の病院職員37名にご参加いただき開催いたしました。

初めに大原社労士事務所 特定社会保険労務

両講師ともに、自身の現場での経験や成果を交え勤務環境改善に関する具体的な取り組み等について数字に基づき論理的にご説明いただきました。

セミナー終了後のアンケートからは、「もっとたくさんの事例を聞きたかった。」や「従業員を大切にするような取り組みを導入していきたい。」といった意見もあり、大変好評なセミナーとなりました。

（事務局）



士 大原耕也氏を講師にお招きし「医療機関の勤務環境改善と医療勤務環境マネジメントシステムについて」をテーマに講演いただきました。その後、広島大学大学院 医歯薬保健学研究院 特任教授 中島美津子氏より「医療機関の勤務環境改善をめぐる現状と今後の取り組みについて」をテーマに講演いただきました。